

「たけはら3色レンジャー物語」パートII【大型紙芝居（A1サイズ）・DVD】

◎ 場面一覧



◎ 内容（概略）

マラソン大会で3色レンジャーに食べ物の働きを教えてもらった子どもたちの学校で、祖父母を迎えた「ふれあい給食会」が行われています。

楽しく給食を食べながら、マラソン大会での出来事をおじいちゃん・おばあちゃんに話しているところに、緑レンジャーがやって来て、緑色の食べ物の仲間の働きを話します。何でも食べる竹蔵さんは「自分の畑の野菜はおいしいからしっかり食べるぞ」と答えます。

給食を残している忠助さんに気づいた子どもたちが理由を聞くと、お肉や卵は食べないようにしていると答え、自分たちが3色レンジャーに聞いたこととの違いに驚いているところに赤レンジャーが登場します。成長しない大人の体にも、赤色の食べ物の仲間が大切なことを話します。

入れ歯の調子が悪くて、ほとんど給食が食べられない吉子さんを心配して、黄レンジャーがあらわれ、脳の働きにも黄色の食べ物の仲間が必要という話をし、みんなで歯の治療やお口の体操をするように進めます。

食事ができるようになった吉子さんが作った「おはぎ」を、みんなで楽しく食べています。その様子を見た3色レンジャーも喜んでいきます。